事務事業評価シート

事務事業名 地場産業振興事業

担当部局名		担当室名	室長名	
	産業部	商工経済室	福田 浩士	

(H.30)No. 1210 (H.29)No. 1210 会計区分 一般会計 ・制度 事業コード (中事業名)※予算書事業名 地場産業振興事業 項商工費 (小事業名) 項商工費 同工業振興費 地場産業振興事業 地場産業振興事業

1. 事務事業の位置付け

総	政 策	3	活力に満ちて暮らせるまち
合計	基本施策	1	地域産業の振興
画	施策	2	商工経済
重占プロジェクト 1 元気創造プロジェクト			創告プロジェクト

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)

- ・新事業の創出・育成により、地域産業の活性化を図る。
- ・地産地消の推進、地域産品、地域資源の広報等により、販路拡大等ビジネスチャンスを創出する。

事業内容

- ・地域資源を活用した新商品の開発を支援し、新たな事業の育成を図る。
- ・とれたて名張交流館による地産地消の推進
- ・物産PR等により地域産品のブランド化、販路拡大を促進する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

0. 松石川圏の日保建災に同じた工な手末の天根。川圏					
	H.29年度(事業量·取組実績)	H.30年度(事業量·取組計画)			
	・若者移住定住チャレンジ支 援事業	・若者移住定住チャレンジ支 援事業			
主な事業の	•創業支援事業	•創業支援事業			
実績·計画	・とれたて名張交流館による 地産地消の推進	・とれたて名張交流館による 地産地消の推進			
	・物産PRイベント出展	・ 物産PRイベント出展			

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
・創業支援事業	・創業支援事業	・創業支援事業
・とれたて名張交	・とれたて名張交	・とれたて名張交
流館による地産地	流館による地産地	流館による地産地
消の推進	消の推進	消の推進
・物産PRイベント	・物産PRイベント	・物産PRイベント
出展	出展	出展

		H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予	H.32年度(計画予	H.33年度(計画予
		H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分	算)	算)	算)
(Di	直接事業費		576千円		9,012千円	3,012千円	3,012千円	3,012千円
内	国·県支出金							
訳	地方債							
千円	その他(産業振興基金)		0		6,000	0	0	0
	一般財源	0	576	0	3,012	3,012	3,012	3,012
	職員		0.15人		0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
数	臨時職員等							
2	概算人件費	0千円	1,110千円	0千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円
(1)	+②総事業費	0千円	1.686千円	0千円	10.492千円	4.492千円	4.492千円	4.492千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)

創業希望者をもった若者が、自らのアイデアで創業していくことを目的に募集した「若者移住定住チャレンジ支援事業」は、採択O件の審査結果であったが、応募者全員が名張市で創業し、業界の活性化に寄与している。

秋季の天候不順が崇り、葉物野菜をはじめとした、とれたて名張交流館の売りの一つである、生鮮野菜の品揃えが乏しく、店舗全体の売り上げの低下につながっていった。商品の品ぞろえの充実に今後の課題を残す。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)

継続(改善)

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)

地産地消の推進では、とれたて名張交流館の売り上げの増加もさることながら、交流館を販売場としてだけではなく、生産者間の交流を図る場として位置付け、イベント等を開催し地域経済の活性化を図る。。

創業支援としては、若者等の創業者に対して支援し、新たな産業の創出並びに地域の活性化を 図る。

🧘 6. 事務事業の取組に関係する市の計画

名張市産業振興ビジョン